

学園ビジョンR2020・新中期計画
キックオフ・イベント

Creating a Future Beyond Borders

自分を超える、未来をつくる。

教職員・学生の皆さんへ

学園ビジョンR2020・新中期計画についてともに考えましょう。
教職員・学生の方はどなたでもご参加いただけます。

コンテンツ

1) 開催挨拶 川口清史総長

2) 特別講演

講 師: 猪木 武徳氏

(国際日本文化研究センター所長、『大学の反省』著者)

テーマ: これからの大学教育に求められるもの

3) パネルディスカッション

テーマ: 学習者が中心となる教育の実現に向けて

4) 閉会挨拶



講師猪木 武徳氏

日時 1月15日(金) 17:00~19:00

会場 衣笠: 恒心館730教室(実施会場)

BKC: コーニングハウス I C205教室(テレビ回線接続)

APU: 本部棟 第5会議室(テレビ会議接続)

講演テーマ 「これからの大学教育に求められるもの」について

高等教育の変遷や諸外国との相違を踏まえながら、これからの大学に求められる姿を論じて頂きます。主に大学教育における教養教育の重要性、教育の質保証の問題、大学の国際化、私学の果たす重要性等、特に教育の観点からどのような学生を育てていくべきか、「公」を知るための教育のあり方や「大学の反省」で語られている内容との関わりなど、立命館学力を確立していくことと関わってもその方法等についての示唆を頂きます。

パネルディスカッションテーマ 「学習者が中心となる教育の実現に向けて」について

学習者が中心となる教育とはどのようなものか、そのために何をすべきか等について、講演内容を踏まえて本学教員(新中期計画委員会メンバー)と猪木教授とのパネルディスカッションを行います。

猪木 武徳 (INOKE Takenori) 国際日本文化研究センター 所長

略 歴

1968年 3月 京都大学経済学部経済学科卒業
1974年 5月 (米國)マサチューセッツ工科大学Ph.D. in Economics
1974年 10月 大阪大学経済学部 助教授
1987年 8月 大阪大学経済学部 教授
1995年 7月 大阪大学経済学部長(1997.7.20まで)
2002年 4月 国際日本文化研究センター 教授
2008年 4月 国際日本文化研究センター 所長就任

専門分野: 労働経済学、経済思想、近代経済史

現在の研究テーマ: 官僚制の国際比較、ホワイトカラーの人材育成に関する研究

連絡先 TEL 075-813-8130 総合企画課/担当: 米倉(内線510-2078)